

補足評価票（令和5年度管理運営）

評価項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
<p>【1】KIITO:300 CAMP（こどもの創造的学びに関する事業） CAMP常設プログラムの運営やこども向けワークショップ開催、こどもの創造性に関する活動を行う団体への支援等、こどもの創造性を育む事業として行った主な取組</p>	<p>「KIITO:300キャンプ」においては土日祝を中心に廃材等を使用できる自由工作やボードゲームを体験できる常設プログラムの提供、短期から中長期にわたる多様な創造教育プログラムの開発と実践を推進した。</p> <p>常設プログラムの利用者はのべ8,246人（2022年度の3,052人から2.7倍）となり、スペースとプログラムの周知が図られた。大幅な利用者増に伴い、十分な活動環境を確保するため、利用時間と人数の制限を導入している。</p> <p>また、創造教育プラットフォームとしての機能強化を目的として、市民向けプログラムを実施する利用団体を募集し、2024年3月の1か月間に6事業者がKIITO:300において事業を実施した。</p> <p>企業や団体と共に行う創造教育プログラムの開発にも継続して注力し、良品計画（無印良品神戸阪急）、神戸市シルバーカレッジ、武庫川女子大学との連携を果たした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 常設プログラムについては、令和3年度の開設以降着実に利用者が増加している。認知度の向上や、リピーター獲得等が実績につながっていると考えられ、高く評価できる。今後は、常設プログラム資材の定期的なアップデートや、常設プログラム開催に合わせたミニワークショップの定期開催等、さらなる内容充実を図りたい。 子ども向けワークショップについては、企業や教育機関と連携し多様な独自のプログラムの実施・集積を行っており、参加者のアンケートにおいても満足度が高く、評価できる。 より多くの子どもたちにプログラムに触れる機会を提供するため、こどもの創造性を育む活動をする団体等への育成・支援や、キャンパー等の人材育成を通じ、広く市内へのアウトリーチを進めていきたい。
<p>【2】KIITO:300 FARM（社会貢献活動の支援事業） 社会貢献活動を行う団体・個人への相談対応・支援や、社会貢献活動に関するワークショップ等に関する主な取組</p>	<p>「KIITO:300ファーム」においては、KIITO:300を会場とした活動や団体、活動に関する知見を集積するプログラムの実施を通して、交流拠点としての機能を果たした。</p> <p>社会貢献活動、地域活動に関する相談窓口を設置し、21件の相談に対応した。予約不要の相談日も設定することで、「相談」のハードルを下げる試みも行った。社会貢献活動や地域貢献活動に関するスペースの利用は75団体、のべ1,345人であった。</p> <p>社会貢献活動や地域活動を行っている個人や団体をプレゼンターに迎えて活動を発信し、交流を図る「300秒プレゼンテーション交流会」、活動に関するレクチャーと課題を共有して交流と連携を深める「地域課題解決+クリエイティブトーク」などの継続的な開催を通して利用団体等との交流を促進するとともに、交流拠点としての機能と認知も向上した。</p> <p>また、KIITO:300での活動にだけでなく「地域活動に役立てるためのクリエイティブ講座」では、西区社会福祉協議会との連携により西区で開講することで、同区を中心に活動する個人や地域団体への支援を果たした。</p> <p>「LIFE IS CREATIVE展」を起点とするシニアの社会貢献活動・地域活動への参画促進のサポートを継続的に実施し、神戸市内を中心にして活動を広めた。</p> <p>あわせて、教育機関との連携事業や学生活動支援、インターンの受け入れも積極的に実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交流拠点及び各プログラムの認知が広がってきており、参加者や相談者は着実に増加し、社会貢献活動の裾が広がっている。 一方、社会貢献活動を行う団体による交流拠点利用においては、特に平日利用が進んでおらず、利用促進の仕組みの工夫やさらなる周知・広報に引き続き取り組まれない。 「KIITO:300キャンプ」を含め、センターのウェブサイトの「KIITO:300」に関する案内について、利用方法や活動事例など、利用を検討する団体にとってわかりやすく十分に情報が伝わるよう、掲載の工夫を引き続き行っていただきたい。

補足評価票（令和5年度管理運営）

評価項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
<p>【3】他都市等とのネットワーク構築・連携・交流、デザイン都市・神戸の発信</p> <p>他都市・関係機関等との連携・交流に関する主な取組、及びこれらを通じて得られた成果（デザイン都市・神戸の発信、先進事例の収集等）</p>	<p>社会情勢が安定したことで創造都市ネットワークを中心に海外との交流事業が活性化した。深センデザインウィーク（4月・深セン）、武漢デザインビエンナーレ、及び武漢デザイン都市ラウンドテーブル（11月・武漢）、ASEAN創造都市フォーラム（11月・ハノイ）から招聘を受け、神戸市、及びセンターの活動を紹介することで、世界に向けたプレゼンス向上を実現した。海外創造都市からは、南京（文学分野）、チェンマイ（工芸分野）からの訪問を受け入れ、今後の連携に向けた意見交換を実施した。</p> <p>また、10月にWorld Design Organization（WDO）による「世界デザイン会議（World Design Assembly/ WDA）」が東京で開催された。神戸市と名古屋市の「デザイン都市」加盟認定15年とWDA開催を契機として、旭川市、神戸市、名古屋市が連携し、ユネスコ・デザイン都市推進委員会（UCoDC）を発足させ、WDO世界デザイン会議東京2023公認プログラムとしてカンファレンス「往来 Correspondence」を2023年10月26日（木）東京で開催した。</p>	<p>国内外の創造都市との交流・意見交換や市・センターの取組内容の発信、海外からの視察の受け入れ等、他都市等とのネットワーク構築に精力的に実施しており、デザイン都市・神戸の拠点施設として、重要な役割・機能を十分に果たしている。</p>

補足評価票（令和5年度管理運営）

評価項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
<p>【4】企画事業 上記項目の他、企画事業として実施した主な取組</p>	<p>〈「ライフ・イズ・クリエイティブ フェス（ラ・フェス）」の開催〉 東遊園地、こども本の森 神戸、神戸市立三宮図書館と連携しフラワーロードを舞台にした愛称「ラ・フェス」を開催した。雨天の影響で中止となる屋外プログラムもあったが、フラワーロードを軸にしてつながる様々な団体との「協働のプラットフォーム」としてイベントを企画、実施できたことはひとつの評価といえる。</p> <p>〈高齢者が子どもたちに技術を教えるーこどもの洋裁教室とパン、マドレーヌ制作〉 「LIFE IS CREATIVE展」と起点とするシニア女性（洋裁マダム）が講師となり、子どもたちに裁断や縫製などの洋裁の基礎技術を教える「こどもの洋裁教室」では、着物生地をリメイクしてオリジナルの服を制作した。前述「ラ・フェス」と合わせて開催された「着物リメイクファッションショー」において講師となった洋裁マダムと共にランウェイを歩き、成果発表を行った。また、パンや洋菓子の技術を習得した高齢者男性が子どもたちと一緒に調理を実施することで、地域での活躍機会だけでなく多世代交流の軸にもなった。</p> <p>〈創造的活動を支援する人材の育成〉 センターのさまざまなイベント・プログラムの運営を補助するボランティアスタッフ組織「KIITOサポーター」、及び「KIITO:300キャンプ」において実施する子どもの創造性を育む活動におけるワークショップやイベントの運営サポートをするボランティアスタッフ「キャンパー」を組成し、様々なプログラムへの参画や主体的な活動の実施サポートを継続している。「サポーター」は1,214人の登録、「キャンパー」は212人の登録であり、継続して活躍機会の創出を図る。</p> <p>〈視察・事業説明等への積極的な対応〉 視察や事業説明依頼に対しては可能な限り対応し、活動紹介（プレゼンテーション）を通じたセンターのプレゼンス向上に努めた。2023年度は73件510人、うち海外からの視察も13件98人の実績となり、センターとそこでの先進的活動が国内外で注目されているというひとつの証左といえる。また、事業紹介を通して地域活動のプログラムを提供することで、市内外においてローカライズされ実践されるという「神戸モデル」の普及も対応の成果といえる。</p>	<p>・ 各種企画事業の開催を通じ、多くの市民が参加し創造的活動に親しむ機会を提供しており、独自の取組としてKIITOの価値向上とともに、市民への還元につながっており、いずれも高く評価できる。</p> <p>・ 「サポーター」「キャンパー」については、KIITOの事業運営を支える重要な役割を担うとともに、人材育成・活躍機会創出の場となっている。KIITOのプログラムの横展開やアウトリーチの担い手としての役割も含め、育成された人材がより活動の幅を広げられるような育成・支援を引き続き行っていただきたい。</p>

補足評価票（令和5年度管理運営）

評価項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
<p>【5】クリエイティブラボの運営</p> <p>入居者の満足度向上のために行った取組／入居者とKIITO双方が価値を高めるために行った連携等</p>	<p>〈クリエイティブラボ担当によるリレーションを強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画事業部門とプロパティマネジメント部門が一体となり、クリエイティブラボ入居者とセンタースタッフ交流の会を定期的開催。神戸市のセンター所轄部署、三宮図書館も参加。 <p>〈クリエイティブラボ入居者とレンタルスペース利用者、周辺施設・企業との連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスペース利用者からの要望（音響設営、販促物など）に対して、クリエイティブラボ入居者を紹介するなど、利用者の要望とラボの得意分野を繋いで双方の満足度向上に努めた。 <p>〈クリエイティブラボ施設、フロアの改善〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外に設置されていた集合郵便箱を1階事務所横に移転して、雨天でも郵便を取りやすいように改善。 ・北通用口にインターフォンを設置し、休館日の入居者宛の来客、郵便、配送業者の対応をスムーズにできるよう改善。 ・クリエイティブラボへの来客者がたどり着きにくいという意見から、再度館内サインを見直し、迷わずたどり着けるように改善した。 ・主にクリエイティブラボ入居者が使うゴミステーションの整備を行い、定期的な清掃で常にクリーンな環境を維持した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブラボの運営については、入居者からの要望に対する適切な改善対応や丁寧なコミュニケーションの実施を通じ、入居者アンケートでも高い満足度を得ており、高く評価できる。 <p>一方、創造的活動に携わる事業者が集積するラボの特性を十分に生かし切れていない部分がある。ラボ入居者とレンタルスペース利用者とのマッチングなどは行っているが、センターで行われる様々な事業や活動に関わり、巻き込んでいくような仕掛けや働きかけを行っていただきたい。</p>

補足評価票（令和5年度管理運営）

評価項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
<p>【6】 レンタルスペース・駐車場等の運営</p> <p>レンタルスペース・駐車場の利用者に対し、満足度を高め、また利用率向上のために行った主な取組</p>	<p>〈オンライン予約システムのリニューアルとホームページの整備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度にオンライン予約システムを導入したが、より貸館に特化し広く公共施設でも利用されているオンライン予約システム「パストラール」を導入。利用者の利便性を高めることで、5割程度であったオンライン予約の比率を今年度は9割以上にまで高めることができた。 <p>〈老朽化に伴うレンタルスペースの設備改修と備品の見直しと整備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員でレンタルスペースの定期的な備品チェックとメンテナンスを行い、故障しがちであった大型プロジェクターの買い替え、老朽化していた木製台の上板の修理、使いやすいステージの購入など、古い機材や備品のアップデートや不足備品を追加し、利用者のニーズや要望に応えるよう務めた。 ・定期的にクレンリネス（清潔さや衛生を保つ行為や作業）に努め、レンタルスペースの美化活動を積極的に行った。 <p>〈新たな利用目的の開拓と積極的な見学対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の見学件数は331件（2022年度299件、2021年度127件）とより積極的に対応。センター全体を紹介することで利用促進や「KIITOファン」づくり、利用者からの紹介など新たな利用にもつなげることができた。 ・生糸検査所であったルーツとモダン建築としての魅力を伝えることでより「KIITOらしい」催事の開催が増加。加えて、ラグジュアリーブランド、ダンス・音楽系イベント、ウェディング、カルチャー系プログラム、スポーツ系イベントなど新たな利用目的をカテゴライズして分析し、より幅広いニーズに対応することができた。 <p>〈プロパティマネジメント部門運営スタッフによる館内ガイドツアーの定期開催とプライベートツアーの実施〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KIITOファン」を増やすこととレンタルスペースの営業活動を目的に、レンタルスペースを含む館内ガイドツアー「はじめてのKIITOツアー～スタッフと館内を探検しよう～」の定期開催を10月から偶数月の第2土曜日に実施。レンタルスペースの認知と利用拡大にもつなげることができた。 ・レンタルスペース利用者からの要望で個別グループへのガイドツアーを実施するなど、定期開催以外にも柔軟に対応しセンターの魅力を伝えることで利用者の満足度向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスペースの運営については、利便性向上及び利用促進の取組等により、これまでにない幅広い分野・ジャンルのイベント開催に利用が広がっている。 ・館内ガイドツアーの実施など新たな取組も行き、KIITOファンの創出にさつながら期待できる。 ・アンケートによる満足度も概ね高評価であり、全体として高く評価できる。 ・今後も、稼働率のさらなる向上のため積極的な利用促進に取り組まれない。

補足評価票（令和5年度管理運営）

評価項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
<p>【7】共用部の効果的な利活用及び施設の魅力向上 共用部（クリエイティブラウンジやプロジェクトスペース等）の効果的な利活用等／施設全体の魅力を高める取組</p>	<p>〈クリエイティブラウンジ〉 ・来館者の休憩や読書、リモートワークなどに利用できるラウンジエリアは、利用者が心地よく利用できるよう、定期的なメンテナンスや清掃で環境整備を行った。WEBサイトでの情報発信のほか、視察対応・関係者来館などの際にも積極的に案内し利用者の拡充を図った。 ・神戸市への占用使用許可を受けレンタルスペースと一体で活用も行った。また、「オープンKIITO2024」では飲食の提供を行う「キイトキッチン」を実施し来館者の利便性を高めた。</p> <p>〈プロジェクトスペース〉 ・クリエイティブラボ入居者を主な対象とするミーティングスペース、休憩スペースとしての活用に加え、図書館へとつながる2Bでは全国のフリーペーパーや美術館、博物館など文化施設のチラシを配架するなど創造的活動に関する情報を提供。3Bは通年で「KIITO：300」と一体的な活用・運営を実施した。</p>	<p>・クリエイティブラウンジについては、令和3年度の整備以降、利用者が増加・定着しており、好評を得ている。プロジェクトスペースについては、設置場所や催事の開催に応じた有効な活用をされており、引き続き実施されたい。 ・+クリエイティブスタジオについては、エントランスやホールに近い場所を活かし、より来館者の賑わい創出・交流拠点に寄与するような利用方法を提案されたい。 ・生糸検査所ギャラリー、ユネスコギャラリーについては、展示の魅力を高められる具体的な工夫・改善について提案をされたい。</p>
<p>【8】都心・ウォーターフロントエリアの活性化 ウォーターフロントエリアの玄関口である立地特性を生かした周辺施設との連携・協働に関する取組</p>	<p>ウォーターフロントエリアの活性化に向けては、株式会社神戸ウォーターフロント開発機構に協力し、毎月開催される「新港エリアマネジメントプロジェクトチームメンバー会議」にスタッフが参加、2024年度の具体的な連携事業実施に向けて議論を重ねた。新港地区の「エリアマネジメント」を通じた価値向上と各事業者間の連携が加速したといえる。 また、周辺企業約30社が加盟する「ポートループ利用促進部会」に参加し、センターの紹介と認知向上、広報連携などを行った。</p>	<p>ウォーターフロントエリアの活性化については、定期会合においてエリアの活性化に協力されている。2025年開業予定のジューライオンアリーナ神戸による人の流れの変化などを捉え、KIITOとしての役割・寄与する取り組みについて、積極的に提案されたい。</p>